

2010年 1 月31日 実施

平成21年度（第42回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈プログラミング部門〉
第 2 級 試 験 問 題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 8 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 【1】 【2】 【3】 【4】 は共通問題です。
5. 【5】 【6】 【7】 の問題は, COBOL・イベント駆動型 BASICの
どちらか 1 つを選択し, 解答用紙の選択言語を ☐ で囲んでください。
6. 電卓などの計算用具は使用できません。
7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
9. 制限時間は50分です。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

- 1. 2進数の11101と1011の差を表す2進数。
- 2. 通信方式やインタフェースの規格などの標準化を進めている、米国に本部を置く電気電子技術者協会。
- 3. 企業内などでの共同作業を効率よく行うためのソフトウェア。電子メールや電子掲示板、スケジュール管理などの機能がある。
- 4. 光の三原色である赤、緑、青を使ったディスプレイ装置などの色の表現法。
- 5. 磁気ディスクやフロッピーディスクにおける円一周分の記録場所。

解答群				
ア. RGB	イ. シリンダ	ウ. 10010	エ. トラック	オ. CMYK
カ. 10100	キ. IEEE	ク. 基本ソフトウェア	ケ. ISO	コ. グループウェア

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

A群	B群
1. 著作権	ア. データの破損や紛失に備え、別の場所に複製しておくこと。
2. セキュリティホール	イ. 写真や手描きの絵などを、画像データとしてコンピュータに入力する装置。
3. LAN	ウ. 構内ネットワークよりも地理的に離れた広い範囲で、通信回線を通じてデータのやり取りを行うネットワーク。
4. イメージスキャナ	エ. 特許権、実用新案権、意匠権、商標権で構成され、産業にかかわる発明やアイデアを保護する権利の総称。
5. PDF	オ. 音楽や絵画など、人間の創作活動から生まれたものを保護する権利。
	カ. ソフトウェア設計の誤りなどから起こる、システムの安全機能上の欠陥。
	キ. 画面に専用のペンや指で触れることにより、データを入力する装置。
	ク. 電子文書のフォーマット形式の1つ。専用のソフトウェアを使うことで、コンピュータの機種や使用環境に依存せずに電子文書を閲覧でき、また、元の文書の体裁のまま印刷することができる。
	ケ. 比較的狭い範囲や敷地内に設置される構内ネットワーク。
	コ. インターネット上でよく利用され、256色まで色数が扱える画像ファイル形式の1つ。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

- 1. ソフトウェアの修正や追加機能のプログラムを使用し、ソフトウェアの内容を最新の状態にすること。
ア. アップデート イ. アップロード ウ. ダウンロード
- 2. 日本語を扱うために、日本工業規格で定められた文字コード。
ア. ASCIIコード イ. Unicode ウ. JISコード
- 3. 携帯電話やデジタルカメラなどに挿入して利用する、フラッシュメモリを用いたカード型の補助記憶装置。
ア. メモリカード イ. ハードディスク ウ. ワイルドカード
- 4. 既存の電話回線を用いて非対称型のデータ通信を行う際、アナログ信号とデジタル信号を相互に変換する装置。
ア. CATVモデム イ. ADSLモデム ウ. スプリッタ
- 5. デジタル写真を修正・加工したり、2次元や3次元の絵や図形を描いたりするソフトウェア。
ア. アーカイバ イ. CGソフトウェア ウ. ミドルウェア

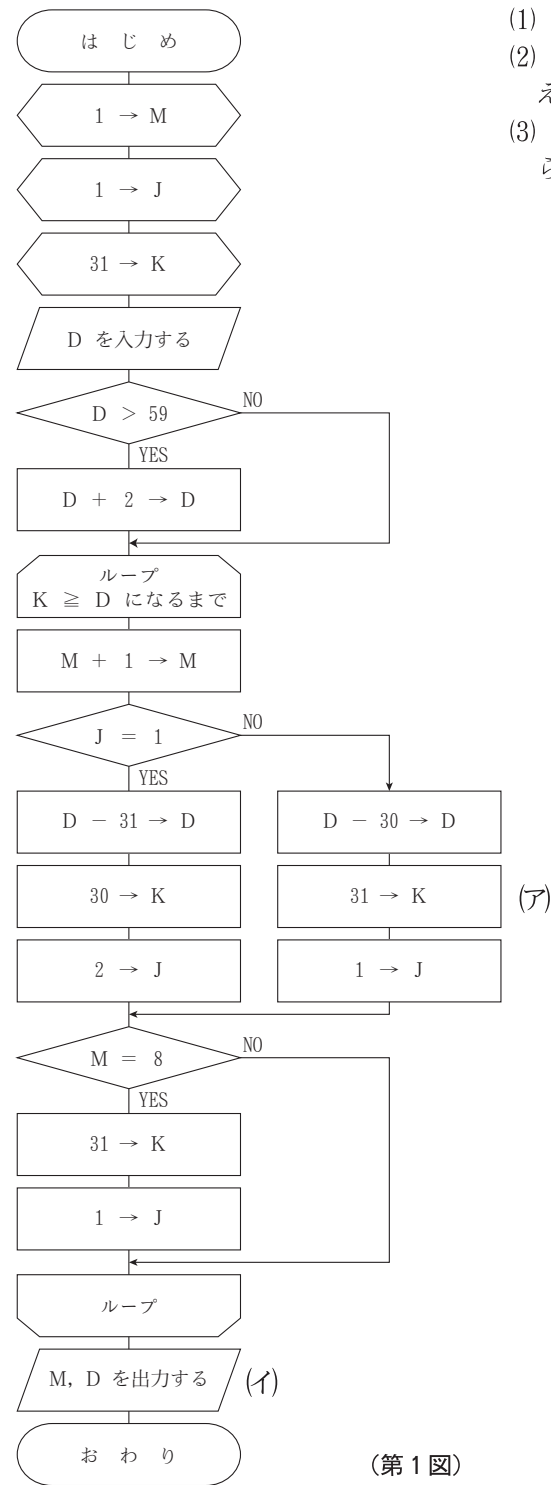
【4】 次の各問いに答えなさい。

- 問1. 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。
- (1) プログラムの文法エラーや論理エラーを修正する作業。
 - (2) 言語プロセッサの1つで、プログラムを1行ずつ解釈し実行するもの。
 - (3) 事務処理計算向けに開発された手続き型のプログラム言語。

解答群

- | | | |
|------------|-----------|----------|
| ア. アセンブリ言語 | イ. インタプリタ | ウ. コンパイラ |
| エ. トレース | オ. COBOL | カ. デバッグ |

問2. 第1図の流れ図にしたがって処理するとき、次の(1)～(3)に答えなさい。なお、入力するDの値は1以上365以下の正の整数とする。



- (1) Dの値が143のとき、(ア)は何回実行されるか答えなさい。
- (2) Dの値が220のとき、(イ)で出力されるMの値はいくつか答えなさい。
- (3) (ア)の処理を変更しても、(イ)で出力されるM, Dの値が変わらない計算式はどれか、ア～ウから選び、記号で答えなさい。
 - ア. $K - 1 \rightarrow K$
 - イ. $K + 29 \rightarrow K$
 - ウ. $K + 1 \rightarrow K$

(第1図)

[COBOL選択者のための問題]

2010.01 2-③

- 【5】 第1図のようなある旅館の月間宿泊ファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字する。プログラムの空欄にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

(ファイル名: RYOKAN-F, レコード名: RYOKAN-R)

日付 (HI)	大人人数 (OTONA)	こども人数 (KODOMO)	オプション (OP)
××	××	××	×

(第1図)

出力形式

(ファイル名: LIST-F, レコード名: LIST-R)

(月間宿泊料金一覧表)				
(日付)	(大人人数)	(こども人数)	(オプション名)	(宿泊料金)
1	2	2	貸切風呂	38,100
1	2	0	なし	24,000
2	3	1	卓球	43,000
}	}	}	}	}
30	2	3	貸切風呂	44,100
(宿泊料金平均)				34,753
(最も高い宿泊料金)				68,100

(第2図)

処理条件

- 第1図のファイルを読み、第2図のように日付から宿泊料金までを印字する。
- 宿泊料金は、次の計算式で求める。なお、オプション料金は第3図のとおりである。

$$\text{宿泊料金} = 12000 \times \text{大人人数} + 6000 \times \text{こども人数} + \text{オプション料金}$$

オプション	オプション名	オプション料金
N	なし	0円
T	卓球	1,000円
F	貸切風呂	2,100円

(第3図)

- ファイルを読み終えたあと、次の計算式で宿泊料金平均を求め、最も高い宿泊料金とともに印字する。なお、最も高い宿泊料金が複数あった場合は、先に入力したものを印字する。

$$\text{宿泊料金平均} = \text{宿泊料金合計} \div \text{件数}$$

(小数点以下切り捨て)

- 入力データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. OP = "T"
 イ. HEIKIN
 ウ. GOKEI / KENSU
 エ. RYOKIN < SAIKO
 オ. KENSU
 カ. RYOKIN > SAIKO
 キ. OP = "F"
 ク. OTONA + KODOMO / 2
 ケ. GOKEI + RYOKIN
 コ. KENSU / GOKEI

WORKING-STORAGE SECTION.

```

01 FLG          PIC 9(01).
01 OPKIN        PIC 9(04).
01 RYOKIN        PIC 9(07).
01 GOKEI         PIC 9(08).
01 KENSU         PIC 9(03).
01 HEIKIN        PIC 9(07).
01 SAIKO         PIC 9(07).
01 MEISAI-R.
02              PIC X(03) VALUE SPACE.
02 HI-M          PIC Z9.
02              PIC X(09) VALUE SPACE.
02 OTONA-M       PIC Z9.
02              PIC X(11) VALUE SPACE.
02 KODOMO-M      PIC Z9.
02              PIC X(05) VALUE SPACE.
02 OPMEI-M       PIC X(08).
02              PIC X(04) VALUE SPACE.
02 RYOKIN-M      PIC Z, ZZZ, ZZ9.
01 HENSYU-R.
02              PIC X(45) VALUE SPACE.
02 HENSYU-H      PIC Z, ZZZ, ZZ9.
  
```

PROCEDURE DIVISION.

```

P1. OPEN INPUT RYOKAN-F OUTPUT LIST-F
   MOVE ZERO TO FLG GOKEI (1) SAIKO
   PERFORM UNTIL FLG = 1
     READ RYOKAN-F
     AT END
       MOVE 1 TO FLG
     NOT AT END
       IF OP = "N"
         THEN
           MOVE 0          TO OPKIN
           MOVE "なし"    TO OPMEI-M
         ELSE
           IF (2)
             THEN
               MOVE 1000    TO OPKIN
               MOVE "卓球"  TO OPMEI-M
             ELSE
               MOVE 2100    TO OPKIN
               MOVE "貸切風呂" TO OPMEI-M
           END-IF
         END-IF
       END-IF
     COMPUTE RYOKIN = 12000 * OTONA + 6000 * KODOMO + OPKIN
     COMPUTE GOKEI = (3)
     COMPUTE KENSU = KENSU + 1
     MOVE HI      TO HI-M
     MOVE OTONA   TO OTONA-M
     MOVE KODOMO  TO KODOMO-M
     MOVE RYOKIN  TO RYOKIN-M
     WRITE LIST-R FROM MEISAI-R AFTER 1
     IF (4)
       THEN MOVE RYOKIN TO SAIKO
     END-IF
   END-READ
   END-PERFORM
   COMPUTE HEIKIN = (5)
   MOVE HEIKIN TO HENSYU-H
   WRITE LIST-R FROM HENSYU-R AFTER 2
   MOVE SAIKO   TO HENSYU-H
   WRITE LIST-R FROM HENSYU-R AFTER 1
   CLOSE RYOKAN-F LIST-F
   STOP RUN.
  
```

【COBOL選択者のための問題】

2010.01 2-④

- 【6】 第1図のようなある地域の吹奏楽フェスティバルの出場申し込みファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字する。第7図の流れ図(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

学校種別 (SYU)	申込学校名 (KOUMEI)	出演者数 (NIN)
×	×××～×××	×××

(第1図)

処理条件

- (1) 第1図の出場申し込みファイルは、申し込み順に作成され、学校種別は1が中学校で2が高校である。
 (2) 第3図にしたがって、出演者数により出場する部門が申し込み順に決定される。
 ただし、中学校のみ最大出場学校数が設定されている。

部門	出演者数	最大出場学校数 (中学校のみ)
小編成の部	1～19人	15団体まで
中編成の部	20～39人	20団体まで
大編成の部	40人以上	15団体まで

(第3図)

- (3) 第4図のテーブルSAI-Tには、第3図の最大出場学校数(中学校のみ)があらかじめ記憶されている。

テーブル SAI-T

	(1)	(2)	(3)
SAI	15	20	15
	(小編成 学校数)	(中編成 学校数)	(大編成 学校数)

(第4図)

- (4) 第1図の出場申し込みファイルを読み、学校種別と出演者数をもとに、第5図のテーブルGAK-Tに出場学校数を集計する。

テーブル GAK-T

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
GAK						
	(中学校 小編成)	(中学校 中編成)	(中学校 大編成)	(高 校 小編成)	(高 校 中編成)	(高 校 大編成)

(第5図)

- (5) 学校種別が中学校で第4図の最大出場学校数に達している場合は、第5図のGAK-Tには集計をせずに、出場できない中学校として申込学校名を第6図のテーブルFUKA-Tに記憶する。なお、出場できない中学校は100校を超えることはない。

テーブル FUKA-T

(1)	(2)	～	(99)	(100)
FUKA		～		

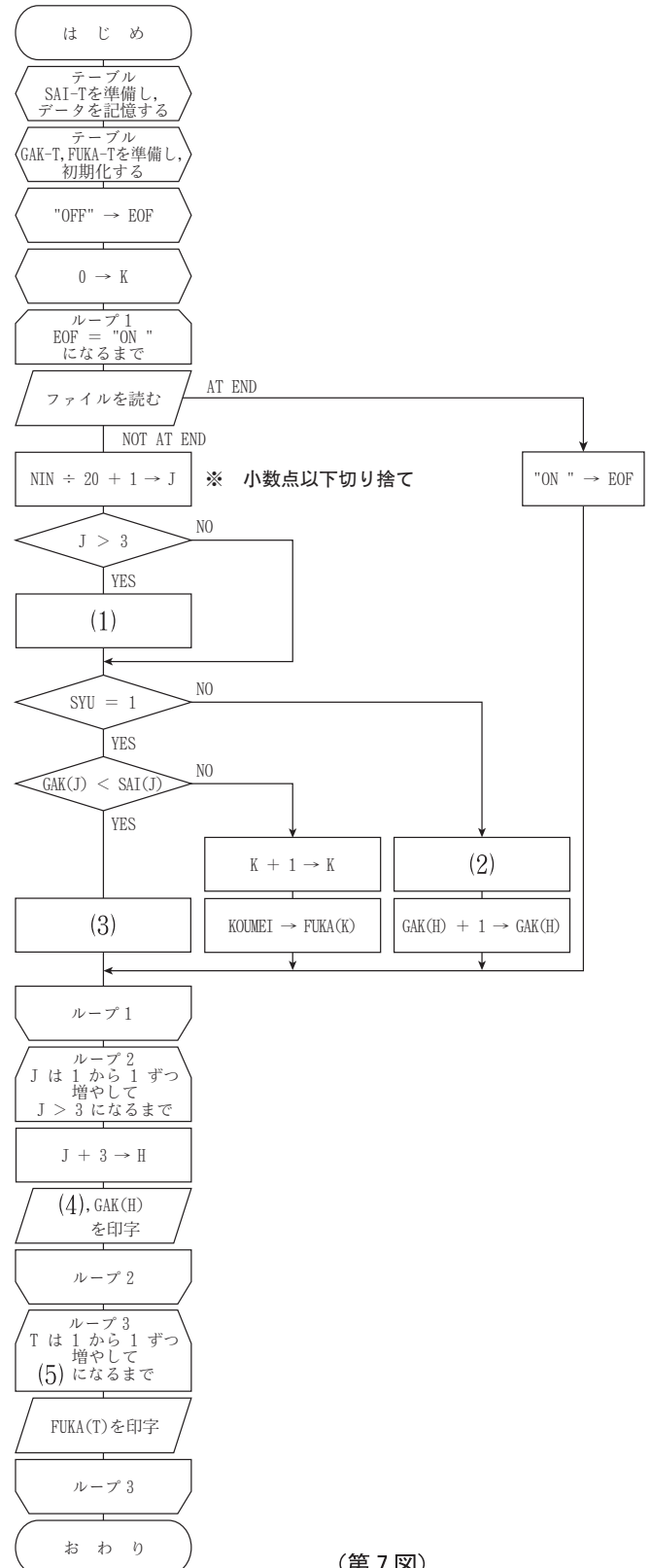
(第6図)

- (6) ファイルを読み終えたあと、第2図のように、出場学校数集計結果、出場できない中学校名を印字して処理を終了する。
 (7) データにエラーはないものとする。

出力形式

(出場学校数集計結果)		
	(中学校)	(高校)
(小編成の部)	14	10
(中編成の部)	20	18
(大編成の部)	9	12
(出場できない中学校名)		
○○中学校		
}		
△△中学校		

(第2図)



(第7図)

解答群

- ア. $GAK(K) + 1 \rightarrow GAK(K)$
 イ. $3 \rightarrow J$
 ウ. $J + 1 \rightarrow H$
 エ. $GAK(J) + 1 \rightarrow GAK(J)$
 オ. $4 \rightarrow J$
 カ. $GAK(K)$
 キ. $T > K$
 ク. $J + 3 \rightarrow H$
 ケ. $T > J$
 コ. $GAK(J)$

- 【7】 第1図のようなある地方新聞社が出題した選択式クイズに対する解答の応募ファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字するプログラムの空欄をうめなさい。

入力形式

(ファイル名: OBO-F, レコード名: OBO-R)

性別 (SEI)	年齢 (NEN)	解答番号 (BAN)
×	×	×

(第1図)

処理条件

- 第1図の性別はMが男性でWが女性である。また、解答番号は1～4であり、はじめにクイズの正解番号をキーボードからSEIKAIに入力する。
- 第3図のテーブルKUB-Tには年齢区分があらかじめ記憶されている。なお、99歳を超える読者からの応募はないものとする。

テーブル KUB-T

	(0～12歳)	(13～18歳)	(19～29歳)	(30～59歳)	(60～99歳)
KUB	12	18	29	59	99
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(第3図)

- 第1図のファイルを読み、解答番号がSEIKAIと同じ場合のみ、年齢をもとに第3図のテーブルKUB-Tを探索し、第4図のテーブルDAN-Tに男性正答数を、テーブルJYO-Tに女性正答数を年齢区分ごとに集計する。
また、第3図と第4図の各テーブルはそれぞれ添字で対応している。

テーブル DAN-T

DAN					
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

テーブル JYO-T

JYO					
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(第4図)

- ファイルを読み終えたあと、第2図のように正解番号から正答率(%)までを印字する。なお、正答率は次の計算式で求める。

$$\text{正答率} = \text{正答数} \times 100 \div \text{応募数}$$

(小数第1位未満四捨五入)

- 最後に、年齢区分および区分別正答数と男女の正答数を印字して処理を終了する。
- 入力データにエラーはないものとする。

WORKING-STORAGE SECTION.

```

}
01 SEIKAI          PIC X(01).
01 RITU            PIC 9(03)V9.
01 DAN-T.
02 DAN             PIC 9(04) OCCURS 5.
01 JYO-T.
02 JYO             PIC 9(04) OCCURS 5.
01 SEITO-GYO.
02                 PIC X(05) VALUE SPACE.
02 M-SEIKAI        PIC X(01).
02                 PIC X(07) VALUE SPACE.
02 M-OBOSU         PIC Z,ZZ9.
02                 PIC X(04) VALUE SPACE.
02 M-SEITOSU       PIC Z,ZZ9.
02                 PIC X(05) VALUE SPACE.
02 M-RITU          PIC ZZ9.9.
01 SYOSAI-GYO.
02                 PIC X(05) VALUE "  -".
02 M-KUB           PIC 9(02).
02                 PIC X(08) VALUE SPACE.
02 M-KEI           PIC Z,ZZ9.
02                 PIC X(06) VALUE SPACE.
02 M-DAN           PIC Z,ZZ9.
02                 PIC X(03) VALUE SPACE.
02 M-JYO           PIC Z,ZZ9.

```

出力形式

(ファイル名: BUNSEKI-F, レコード名: BUNSEKI-R)

(正答分析表)			
(正解番号)	(応募数)	(正答数)	(正答率(%))
2	1,334	1,109	83.1
(年齢区分)	(区分別正答数)	(男)	(女)
-12	272	162	110
-18	163	57	106
-29	220	158	62
-59	195	123	72
-99	259	186	73

(第2図)

PROCEDURE DIVISION.

SYORI.

```

OPEN INPUT OBO-F OUTPUT BUNSEKI-F
INITIALIZE E-FLG OBOSU SEITOSU DAN-T JYO-T
DISPLAY "正解番号を入力してください"
ACCEPT SEIKAI
PERFORM UNTIL E-FLG = 1
    READ OBO-F
    AT END
        MOVE 1 TO E-FLG
    NOT AT END
        COMPUTE OBOSU = OBOSU + 1
        IF (ア)
            THEN
                COMPUTE SEITOSU = SEITOSU + 1
                PERFORM VARYING J FROM 1 BY 1 UNTIL (イ)
                CONTINUE
            END-PERFORM
        IF SEI = "M"
            THEN
                COMPUTE DAN(J) = DAN(J) + 1
            ELSE
                (ウ)
        END-IF
    END-IF
END-READ
END-PERFORM
COMPUTE RITU ROUNDED = (エ)
MOVE SEIKAI TO M-SEIKAI
MOVE OBOSU TO M-OBOSU
MOVE SEITOSU TO M-SEITOSU
MOVE RITU TO M-RITU
WRITE BUNSEKI-R FROM SEITO-GYO AFTER 1
PERFORM VARYING K FROM 1 BY 1 UNTIL K > 5
    COMPUTE KEI = DAN(K) + JYO(K)
    MOVE KUB(K) TO M-KUB
    MOVE (オ) TO M-KEI
    MOVE DAN(K) TO M-DAN
    MOVE JYO(K) TO M-JYO
    WRITE BUNSEKI-R FROM SYOSAI-GYO AFTER 1
END-PERFORM
CLOSE OBO-F BUNSEKI-F
STOP RUN.

```

[イベント駆動型BASIC選択者のための問題]

2010.01 2-⑥

- 【5】 ある旅館の月間宿泊データを入力し、処理条件にしたがって第2図の実行形式のように表示する。プログラムの空欄にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

フォーム

入力欄

日付 大人人数 こども人数 オプション名

Text1 Text2 Text3

Option1 Option2 Option3

Command1 Command2 Command3

宿泊料金 Label1

宿泊料金平均 Label2 最も高い宿泊料金 Label3

(第1図)

実行形式

入力欄

日付 大人人数 こども人数 オプション名

12 2 2

なし 卓球 貸切風呂

処理 クリア 終了

宿泊料金 37,000

宿泊料金平均 37,556 最も高い宿泊料金 44,100

(第2図)

処理条件

- (1) 第2図の日付、大人人数、こども人数を入力し、オプションを設定する。
- (2) 「処理」ボタンをクリックすると次の処理を行う。
- ① 宿泊料金を、次の計算式で求めLabel1に表示する。
なお、オプション料金は第3図のとおりである。

$$\text{宿泊料金} = 12000 \times \text{大人人数} + 6000 \times \text{こども人数} + \text{オプション料金}$$

オプション	オプション名	オプション料金
N	なし	0円
T	卓球	1,000円
F	貸切風呂	2,100円

(第3図)

- ② 入力時点までの宿泊料金平均を、次の計算式で求めLabel2に表示する。また、最も高い宿泊料金をLabel3に表示する。なお、最も高い宿泊料金が複数あった場合は、先に入力されたものを表示する。
- $$\text{宿泊料金平均} = \text{宿泊料金合計} \div \text{件数}$$
- (3) 表示に関する設定は、第2図の実行形式のとおりとする。
また、入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

解答群

- ア. Op = "T"
イ. Heikin = 0
ウ. Ryokin > Saiko
エ. Kensu / Gokei
オ. Kensu = 0
カ. Gokei / Kensu
キ. Op = "F"
ク. Otona + Kodomo / 2
ケ. Gokei + Ryokin
コ. Ryokin < Saiko

Option Explicit
Dim Gokei, Saiko As Long
Dim Kensu As Integer
Dim Op As String

Private Sub Syokyo() (消去)
Text1.Text = "": Text2.Text = "": Text3.Text = ""
Label1.Caption = ""
Option1.Value = True
Op = "N"
End Sub

```
Private Sub Form_Load()  
    Call Syokyo  
    Label2.Caption = "": Label3.Caption = ""  
    Gokei = 0  
    (1)  
    Saiko = 0  
End Sub
```

```
Private Sub Command1_Click() (処理)  
    Dim Otona, Kodomo, Opkin As Integer  
    Dim Ryokin, Heikin As Long  
    Otona = Val(Text2.Text)  
    Kodomo = Val(Text3.Text)  
    If Op = "N" Then  
        Opkin = 0  
    Else  
        If (2) Then  
            Opkin = 1000  
        Else  
            Opkin = 2100  
        End If  
    End If  
    Ryokin = 12000 * Otona + 6000 * Kodomo + Opkin  
    Gokei = (3)  
    Kensu = Kensu + 1  
    Heikin = (4)  
    Label1.Caption = Format(Ryokin, "###,##0")  
    Label2.Caption = Format(Heikin, "###,##0")  
    If (5) Then  
        Saiko = Ryokin  
        Label3.Caption = Format(Saiko, "###,##0")  
    End If  
End Sub
```

```
Private Sub Command2_Click() (クリア)  
    Call Syokyo  
End Sub
```

```
Private Sub Command3_Click() (終了)  
    End  
End Sub
```

```
Private Sub Option1_Click() (なし)  
    Op = "N"  
End Sub
```

```
Private Sub Option2_Click() (卓球)  
    Op = "T"  
End Sub
```

```
Private Sub Option3_Click() (貸切風呂)  
    Op = "F"  
End Sub
```


[イベント駆動型BASIC選択者のための問題]

2010.01 2-⑦

- 【6】 第1図のようなある地域の吹奏楽フェスティバルの出場申し込みを記録したデータを読み、処理条件にしたがって第2図のように表示する。第7図の流れ図(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

学校種別 (Syu)	申込学校名 (Koumei)	出演者数 (Nin)
×	××～××	×××

(第1図)

処理条件

- 第1図の出場申し込みデータは、申し込み順に作成され、学校種別は1が中学校で2が高校である。
- 第3図にしたがって、出演者数により出場する部門が申し込み順に決定される。
ただし、中学校のみ最大出場学校数が設定されている。

部門	出演者数	最大出場学校数 (中学校のみ)
小編成の部	1～19人	15団体まで
中編成の部	20～39人	20団体まで
大編成の部	40人以上	15団体まで

(第3図)

- フォームロード時に、第4図の配列 Sai に、第3図の最大出場学校数（中学校のみ）を記憶する。

配列

	(1)	(2)	(3)
Sai	15	20	15
	(小編成 学校数)	(中編成 学校数)	(大編成 学校数)

(第4図)

- 第2図の「処理」ボタンをクリックすると、第1図のデータを読み、学校種別と出演者数をもとに、第5図の配列 Gak に出場学校数を集計する。

配列

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
Gak						
	(中学校 小編成)	(中学校 中編成)	(中学校 大編成)	(高校 小編成)	(高校 中編成)	(高校 大編成)

(第5図)

- 学校種別が中学校で第4図の最大出場学校数に達している場合は、第5図の Gak には集計をせずに、出場できない中学校として申込学校名を第6図の配列 Fuka に記憶する。なお、出場できない中学校が100校を超えることはない。

配列

	(1)	(2)	～	(99)	(100)
Fuka					

(第6図)

- データを読み終えたあと、第2図のように、出場学校数集計結果を Label1 に、出場できない中学校名を Label2 に表示し、処理を終了する。
- 表示に関する設定は、第2図のとおりとする。また、入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

解答群

- ア. $Gak(k) + 1 \rightarrow Gak(k)$
 イ. $3 \rightarrow j$
 ウ. $j + 1 \rightarrow h$
 エ. $Gak(j) + 1 \rightarrow Gak(j)$
 オ. $4 \rightarrow j$
 カ. $Gak(k)$
 キ. k
 ク. $j + 3 \rightarrow h$
 ケ. j
 コ. $Gak(j)$

実行形式

出場学校数集計結果
 中学校 高校

処理
終了

小編成の部	14	10
中編成の部	20	18
大編成の部	9	12

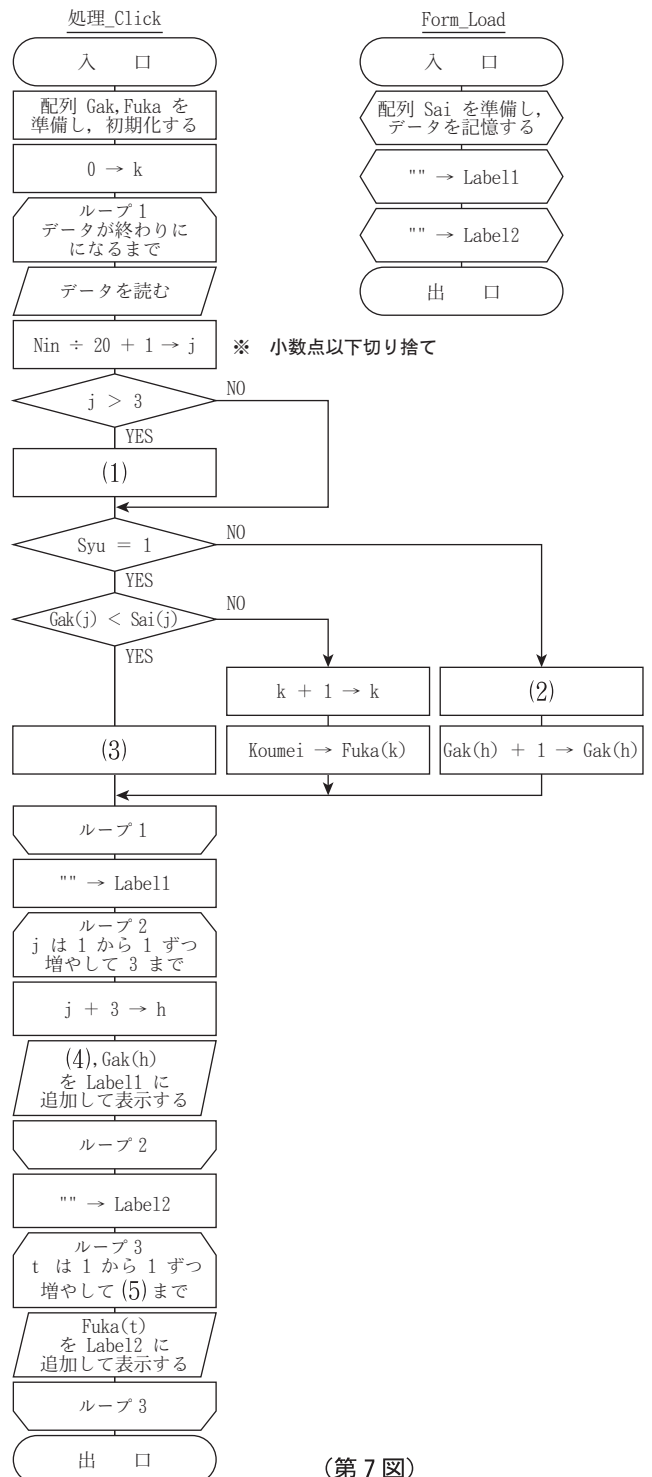
(Label1)

出場できない中学校名

○○中学校
△△中学校

(Label2)

(第2図)



(第7図)

[イベント駆動型BASIC選択者のための問題]

2010.01 2-⑧

- 【7】 ある地方新聞社が出題した選択式クイズに対する解答の応募データを入力し、処理条件にしたがって第2図の実行形式のように表示するプログラムの空欄をうめなさい。

フォーム

—データを入力してください—

性別	年齢	解答番号	Command1
Text1	Text2	Text3	Command2
正答分析表			Command3
正解番号	応募数	正答数	正答率(%)
Label1	Label2	Label3	Label4
年齢区分		区分別正答数	男 女
Label15		Label16	Label17 Label18

(第1図)

処理条件

- (1) フォームロード時に、インプットボックスから入力されたクイズの正解番号をSeikaiに記憶し、Label1に表示する。また、第3図の配列Kubに年齢区分を記憶する。なお、99歳を超える読者からの応募はないものとする。

配列

	(0～12歳)	(13～18歳)	(19～29歳)	(30～59歳)	(60～99歳)
Kub	12	18	29	59	99
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(第3図)

- (2) 性別はMが男性でWが女性である。また、解答番号は1～4である。
- (3) 第2図のように性別、年齢、解答番号を入力し、「処理」ボタンをクリックすると、次の処理を行う。
- ① 解答番号がSeikaiと同じ場合のみ、年齢をもとに第3図の配列Kubを探索し、第4図の配列Danに男性正答数を、配列Jyoに女性正答数を年齢区分ごとに集計する。なお、第3図と第4図の各配列はそれぞれ添字で対応している。

配列

Dan					
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
Jyo					
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(第4図)

- ② 入力時点までの応募数から正答率(%)までを第2図のようにLabel2からLabel4に表示する。なお、正答率は次の計算式で求める。
- $$\text{正答率} = \frac{\text{正答数}}{\text{応募数}} \times 100 \div \text{応募数}$$
- ③ 区分別正答数をLabel6に、男女の正答数をLabel7、Label8に表示する。
- (4) 表示に関する設定は、第2図のとおりとする。また、入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

```

Option Explicit
Dim Kub(1 To 5), Dan(1 To 5), Jyo(1 To 5) As Integer
Dim Obosu, Seitosu As Long
Dim Seikai As String

Private Sub Syokyo() (消去)
    Label6.Caption = "": Label7.Caption = ""
    Label8.Caption = ""
End Sub

Private Sub Command2_Click() (クリア)
    Text1.Text = "": Text2.Text = "": Text3.Text = ""
End Sub

Private Sub Command3_Click() (終了)
    End
End Sub
    
```

実行形式

—データを入力してください—

性別	年齢	解答番号	処理
W	61	2	クリア
正答分析表			終了
正解番号	応募数	正答数	正答率(%)
2	187	67	35.8
年齢区分		区分別正答数	男 女
-12		11	3 8
-18		9	5 4
-29		12	8 4
-59		22	10 12
-99		13	8 5

(第2図)

```

Private Sub Form_Load()
    Dim n As Integer
    Seikai = InputBox("正解番号を入力してください")
    Label1.Caption = Seikai
    Kub(1) = 12: Kub(2) = 18: Kub(3) = 29
    Kub(4) = 59: Kub(5) = 99
    Label2.Caption = "": Label3.Caption = ""
    Label4.Caption = "": Label5.Caption = ""
    Call Syokyo
    Text1.Text = "": Text2.Text = "": Text3.Text = ""
    Obosu = 0
    Seitosu = 0
    For n = 1 To 5
        Dan(n) = 0
        Jyo(n) = 0
        Label5.Caption = Label5.Caption & " -" & _
            Format(Kub(n), "##") & _
            Chr(13) & Chr(10)
    Next n
End Sub
    
```

```

Private Sub Command1_Click() (処理)
    Dim Sei, Ban As String
    Dim Nen, Kei, j, k As Integer
    Dim Ritu As Single
    Sei = Text1.Text
    Nen = Val(Text2.Text)
    Ban = Text3.Text
    Obosu = Obosu + 1
    If (ア) Then
        Seitosu = Seitosu + 1
        j = 1
        Do Until (イ)
            j = j + 1
        Loop
        If Sei = "M" Then
            Dan(j) = Dan(j) + 1
        Else
            (ウ)
        End If
    End If
    Ritu = (エ)
    Label2.Caption = Format(Obosu, "#,##0")
    Label3.Caption = Format(Seitosu, "#,##0")
    Label4.Caption = Format(Ritu, "##0.0")
    Call Syokyo
    For k = 1 To 5
        Kei = Dan(k) + Jyo(k)
        Label6.Caption = Label6.Caption & _
            Format((オ), "#,##0") & _
            Chr(13) & Chr(10)
        Label7.Caption = Label7.Caption & _
            Format(Dan(k), "#,##0") & _
            Chr(13) & Chr(10)
        Label8.Caption = Label8.Caption & _
            Format(Jyo(k), "#,##0") & _
            Chr(13) & Chr(10)
    Next k
End Sub
    
```

(平成22年1月31日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第42回）情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

解 答 用 紙

1	2	3	4	5

1	2	3	4	5

1	2	3	4	5

問 1			問 2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
			回		

小 計

.....〔COBOL〕・〔イベント駆動型BASIC〕.....

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(ア)	
(イ)	
(ウ)	
(エ)	
(オ)	

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語	
		COBOL	イベント駆動型 BASIC

小 計

合 計

選択言語を ☐ で囲むこと

(平成22年 1 月31日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第42回）情報処理検定試験プログラミング部門 第2級
審 査 基 準

【1】

1	2	3	4	5
ウ	キ	コ	ア	エ

各2点
計10点

【2】

1	2	3	4	5
オ	カ	ケ	イ	ク

各2点
計10点

【3】

1	2	3	4	5
ア	ウ	ア	イ	イ

各2点
計10点

【4】

問 1			問 2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
カ	イ	オ	2 回	8	ウ

問1 各2点
問2 各3点
計15点

小 計
45

..... [COBOL]

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
オ	ア	ケ	カ	ウ

各3点
計15点

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
イ	ク	エ	コ	キ

各4点
計20点

【7】

(ア)	B A N = S E I K A I
(イ)	K U B (J) > = N E N
(ウ)	C O M P U T E J Y O (J) = J Y O (J) + 1
(エ)	S E I T O S U * 1 0 0 / O B O S U
(オ)	K E I

各4点 計20点

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語		小 計	合 計
		COBOL	イベント駆動型 BASIC	55	100

選択言語を で囲むこと

(平成22年 1 月31日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第42回）情報処理検定試験プログラミング部門 第2級
審 査 基 準

【1】

1	2	3	4	5
ウ	キ	コ	ア	エ

各2点
計10点

【2】

1	2	3	4	5
オ	カ	ケ	イ	ク

各2点
計10点

【3】

1	2	3	4	5
ア	ウ	ア	イ	イ

各2点
計10点

【4】

問 1			問 2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
カ	イ	オ	2 回	8	ウ

問1 各2点
問2 各3点
計15点

小 計
45

..... 【イベント駆動型BASIC】

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
オ	ア	ケ	カ	ウ

各3点
計15点

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
イ	ク	エ	コ	キ

各4点
計20点

【7】

(ア)	B a n = S e i k a i
(イ)	K u b (j) > = N e n
(ウ)	J y o (j) = J y o (j) + 1
(エ)	S e i t o s u * 1 0 0 / O b o s u
(オ)	K e i

（注） 大文字，小文字および空白は問わない。

各4点 計20点

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語		小 計	合 計
		COBOL	イベント駆動型 BASIC	55	100

選択言語を で囲むこと